



八 剣 山 通 信

第 4 8 号

八 剣 山 発 見 隊

2006年 3月 27日 発行

3月26日(日)「2006 果樹剪定講習会」を実施しました。

【行事の概要】

春の彼岸も過ぎましたが、八剣山周辺の果樹園はまだ雪におおわれています。しかし、一日一日と日差しが強くなっており、雪解けがだんだんと進んでいるところです。

雪におおわれた中でも果樹園では、リンゴやサクランボの木の枝を剪定する作業が進んでおり、木の周りには切り落とされた枝があちこちに散らばっている状況です。

さて今回は、昨年に引き続きまして、元北海道農業試験場果樹研究室長の京谷英壽先生のご指導により果樹剪定講習会を実施することとなりました。

近年は果樹に対する関心も高くなり、リンゴやサクランボ、プラムなどを自宅の庭に植えている人を多く見かけます。

しかし、本からの知識により果樹を育てることは学べても、専門家による実技指導を受ける機会はほとんどありません。その結果、実がほとんど付かなかったり、時には果樹を枯らしてしまう場合も見受けられます。今回の講習会は、果樹の育て方における疑問点について、専門家から直接アドバイスを受けることができる大変良い機会であるといえます。

昨年は実施する前に北海道新聞に取り上げられたことから、100人ほどの方から講習会を受講したい旨の連絡があり、多すぎてお断りする方もいて大変申し訳なかったのですが、今年はどのくらいの方が参加するでしょうか。

・主 催：八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



今回実施した場所

果樹を育てる作業体験者を募集しています(ボランティア)。

・4月 リンゴのフラン病削り 等

砥山ふれあい果樹園(瀬戸修一) TEL&FAX 011-596-2694

【行事の感想】

9時頃から降り出した雨が、10時頃には本降りになってきました。このため、はじめは小屋の中において、用意した資料の「果樹剪定の手引き」を使って、京谷先生から剪定の基本事項として剪定の目的(効果)や注意事項、剪定の方法などについて、剪定した大きめの枝を使って説明が行われ、ひととおりの説明終了後に参加者から質問を受けましたが、数多く出された質問に対して専門家の立場から、詳しくまた一般の人にもわかりやすく説明をしていただき、参加された皆さん、十分に理解をした様子でした。

11時頃には雨が上がったことから果樹園に出て、前半の30分をサクランボの木の剪定について、後半の30分をリンゴの木の剪定について、詳しい説明が行われました。

果樹の剪定方法について、実地での説明が終わってから、参加者から要望のあった、サクランボやリンゴの接ぎ木の方法についても説明が行われたところです。

また、病害虫を防除するための農薬の使用時期や注意事項については、砥山ふれあい果樹園の園主である瀬戸さんから、配布された資料のほかに、実際に使用しての経験などについて、詳しく説明が行われました。

今回は雨にもかかわらず、26名の方が参加しました。



【剪定について説明する京谷先生】

【今後の行事予定】

・ 5月上旬 山菜収穫と料理講習会

発行：八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)

061-2274 札幌市南区小金湯510番地

011-596-2920 FAX 011-596-2920

<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/>

2006 果樹剪定講習会



【 剪定方法についての説明 】



【 参加者の質問に対する説明 】



【 選定作業が行われている果樹園の状況 】



【 サクランボの木の剪定方法についての説明 】



【 リンゴの木の剪定方法についての説明 】



【 接ぎ木についての説明 】

